

知らないところわい！ スマートフォン・ネット

親子で話そう！
スマホの使用ルール



インストールする前に、安全な
アプリかどうか確認していますか？

ゲーム等で有料の
アイテムを買う時は
慎重に！



SNSなどに載せる内容や設定に
注意しよう！

世界中に自分の情報が公開されているかも。他人の悪口を載せると犯罪になることも！

【編集】 秦野市教育委員会
教育指導課
秦野市桜町 1-3-2
市役所教育庁舎 2階
TEL:0463-84-2786

【発行】 秦野市こども健康部
こども育成課
秦野市桜町 1-3-2
市役所本庁舎 3階
TEL:0463-86-6270

便利なスマートフォン

- すぐに家族などと連絡できる。
- 緊急事態が発生した時の備えになる。
- アプリケーションを使ってインターネットなど様々な機能を使用できる。

こわいスマートフォン

★使い方によっては次のようなことにつながる可能性も・・・

- ネット上のいじめの原因となることがあるかも。
- 闇バイトなどの犯罪に巻き込まれることがあるかも。
- コミュニケーション能力が低下することがあるかも。
- 学力が下がることもあるかも。
- オンラインゲームで無断課金につながるかも。

★様々な手口による自撮り被害が多発しています

相手の要求にしたがい自分で撮影したプライベートな写真（下着姿や裸など）を送ってしまい、その写真がネット上に流出、拡散する被害が増えています。一度インターネット上に広まった写真を削除することは不可能です。

インターネット上にはSNSなどを悪用し、名前や年齢、性別などを偽り信用させて近づき、自撮りの写真を送らせようとする人がいます。一度、写真を送ると、それを元に脅迫して要求をエスカレートさせるケースもあります。このような被害を防ぐため、知らない相手に対してはもちろん、たとえ信用している相手であってもプライベートな写真を絶対に送ってはいけません。

スマートフォン・ネットを 安全に便利に使うために・・・



★本当に必要かどうか慎重に考えよう

持つ前に、便利なことも、怖いことに巻き込まれることがあることも家族でよく理解したうえで、持つかどうか判断しよう。

★親子でルールを作ろう

持つことになったら、必ず家の人と使い方のルールを決め、そのルールを守って使おう。



★買った時の目的を忘れないようにしましょう

必要だった理由を忘れずに、その目的のために使うようにしましょう。
その目的で使うことがあまりなくなった時は、家の人とも相談して持ち続けるかどうか考えてみよう。

★困った時は大人に相談しよう

何か困ったことがあったら、必ず家族、学校の先生などに相談しよう。

保護者の方へ・・・

<親子で話そうスマホのルール>



正しい使い方を理解して使用すれば、大変便利なスマートフォンですが、使い方（使わせ方）を間違えれば、お子様を危険な目にあわせることになります。安全に使用させるために、次の点に留意し、家庭でのルールを決めておくことが大切です。

★個人情報の扱いについて教えましょう

スマートフォンは個人情報がつまっています。個人情報を入力したことで迷惑をかけたり、自分にも不利益なことが起こったりする可能性があります。その扱いには十分留意させましょう。

★フィルタリングサービスを利用しましょう

インターネット上には子どもにとって有害な情報があふれています。お子様が安全に、そして安心して利用するために、購入するときにお店の人とよく相談し、利用できるサイトを制限するフィルタリングサービスを必ず利用しましょう。

★インターネット上のマナーやネットの危険性を教えましょう

インターネット上には、日常の生活と異なる特殊なマナーがあります。また、インターネットは本人になりすまして操作をしたり、匿名であることを利用して悪事を行ったりする人も利用しています。SNSなどでネットワークを利用することは、大変なリスクを伴うということを理解させることが大切です。

★長時間使用させないようにしましょう

長時間メールやSNSなどを利用し続けて「スマホ依存症」になり、本来やるべきことがおろそかになる人が増えています。時間を決めて使用させることが大切です。

★歩行中や自転車利用時には使用しないようにさせましょう

通話をしたり画面を見ながら、歩いたり自転車に乗ったりする行為は、周囲への注意が失われ、事故に巻き込まれる可能性がある大変危険な行為です。絶対行わせないようにしましょう。

本市では、毎年小学校6年生と中学校3年生が参加している全国学力・学習状況調査の結果について、児童生徒の学力や学習状況の分析と、それに基づく教育施策の改善を図るため、「全国学力・学習状況調査結果分析・研究推進連絡会」等の実施を行っております。

令和5年度（令和6年度は同様の質問無し）の調査では、質問紙調査において「読書をしている」と答えた児童生徒の割合（表1）が、小学校は全国平均に1ポイント以内に近づき、中学校も改善傾向にあります。全国平均には及んでいない状況です。

また、新聞を読んでいる児童生徒の割合（表2）は、全国平均には及ばないものの、小学校では全国平均との差が、昨年度が8.2ポイント差から、4.6ポイント差と改善傾向が見られ、中学校では、昨年度と同様になります。国立教育政策研究所の分析では、新聞をよく読んでいる児童生徒ほど、教科に関する調査の正答率が高い傾向があると報告されています。

さらに、令和6年度（5年度同様の質問無し）の調査では、放課後の過ごし方で「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている」と答えた児童生徒が8割を越え（表3）、子ども達がモニター画面の前で過ごす時間が多いことも懸念されています。過度な利用は、「ネット依存」等、心身の成長に悪影響を及ぼすおそれもあることから、生活習慣を見直すとともに、読書やスポーツなど、多様な過ごし方ができるよう、学校・家庭・地域が協力して取り組む必要があると考えています。

全国学力・学習状況調査（小6・中3対象）児童・生徒質問紙回答結果より
（表1）

【質問】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）R5の調査項目				
「読書をしている」と答えた割合（%）				
	秦野市平均			全国平均
	R4年度	R5年度	R6年度	R5年度
小学校	67.1	74.6		75.4
中学校	47.1	50.0		62.6

（表2）

【質問】新聞を読んでいますか。				
「読んでいる」と答えた割合（%）				
	秦野市平均			全国平均
	R4年度	R5年度	R6年度	R6年度
小学校	22.2	18.4	19.4	24.0
中学校	15.4	16.3	14.0	17.0

（表3）

【質問】放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか。				
「家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしていると答えた割合（選択肢から複数回答）（%）				
	秦野市平均			全国平均
	R4年度	R5年度	R6年度	R6年度
小学校	82.6		81.7	79.1
中学校	87.9		89.4	88.6